

北九州市農林水産業振興計画の概要

～女性と若者が誇りを持てる産業と 市民から愛される産地を目指して～

成長

H28.1.21 産業経済局

本市農林水産業を取り巻く状況

現計画時策定時からの新しい動き

- ◇国をあげての農林水産業の成長産業化
- ◇都市農業振興基本法（H27.4）で都市農業振興の重要性と自治体の責務規定
- ◇市新成長戦略の策定、推進
 - ・6次産業化、農商工連携の推進
- ◇市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

現計画（～H27年度）から引き継ぐ課題

- ◇安定した食料供給
 - ・効果的な供給、生産コスト縮減、販路開拓等
- ◇ビジネス貢献
 - ・高付加価値化、後継者育成等
- ◇多面的機能の発揮
 - ・教育、防災、景観、環境保全、交流等
- ◇施策を進める新たな仕組み
 - ・実証・試作研究施設の活用、ものづくり技術他分野・他機関との多角的連携

市議会からの主な意見

- ・女性、若者の視点
- ・学校給食に地元産食材の利用促進
- ・ほ場整備の促進
- ・生産者の所得を見据えた6次産業化・ブランド化の取り組みを
- ・海上風力発電と漁場整備をセットで
- ・放置竹林の産業化・研究費支援
- ・小倉牛支援、総合農事センター活性化
- ・農林漁業者が夢を持てる計画に

アドバイザーの主な意見

- ・担い手育成
- ・女性の意見重要。専業農家の交流機会を望む
- ・ヤル気のある農家を伸ばす施策推進
- ・多様な戦略的栽培が重要
- ・小倉牛は大事なブランド。市が支援を
- ・水産業の6次産業化の積極的な取り組み
- ・種苗放流は継続、拡大を望む
- ・水産業と港湾部門の連携が必要
- ・アサリの資源回復を

女性活躍推進班等局内プロジェクトチーム

新・振興計画（H28年度～32年度）重点テーマ

- ◇農林水産物の戦略的支援
- ◇意欲ある生産者等の新事業展開支援
- ◇輸出等によるマーケット拡大
- ◇再生可能エネルギーの活用
- ◇生産性を高めるほ場、漁場などの基盤整備
- ◇不要施設の整理と未利用地の有効活用
- ◇女性活躍、◇ロボット活用、など18テーマ

新規：赤字、拡充：太字

方向性Ⅰ 安定供給の確保に向けて

主要施策1 多様な担い手の育成

- 担い手の育成
 - 認定農業者 ○研修、勉強会開催 ○**水産業新規就業者の確保**
- 女性・若者の活躍支援**
 - 新規就農制度のパッケージ化** ○**農業委員等への委員登用**
 - ネットワーク化推進**
- 法人化や企業参入の支援**
 - 農作業にかかる雇用確保に向けて検討** ○融資等の支援 等

主要施策2 生産環境の整備

- 生産基盤の整備
 - ほ場・林道・漁港整備** ○**長寿命化** ○**遊休施設整理**等
- 農地利用の最適化の推進**
 - 農地中間管理事業、人・農地プランによる農地集積**等
- 豊かな漁場づくり
 - 漁場整備（鉄鋼スラグ人工石等新技術活用）** ○**種苗放流**
 - 養殖事業（民間新技術の可能性検討）**等

活動指標

- ◇農業の経営参画女性 80件（67件）
- ◇女性農業委員数 6人（0）
- ◇水産6次化グループ女性 48人（24人）
- ◇女性対象研修会開催数 12回（6回）
- ◇新規ほ場整備面積 6.9ha増
- ◇学校給食納入品目数 30品目（25品目）
- ◇市営林木材出荷量 1,000m³（0）
- ◇竹材活用量 1,500t（0）
- ◇商談会出展社数 延べ50社（7社）
- ◇輸出品目数 5品目（0）

※（ ）は26年度

3つの方向性、4つの主要施策

方向性Ⅲ 豊かで美しく活力ある地域づくりに向けて

主要施策4 多面的機能の発揮

- 耕作放棄地対策**
 - 担い手へ集積 ○**農地利用最適化推進委員との連携**
- 放置竹林・荒廃森林対策**
 - 竹を産業用素材として活用 ○**県森林環境税を活用**
- 多面的機能の啓発
 - 産地見学会、イベント ○**里海づくり** 等
- にぎわいの創出とシビックプライドの醸成**
 - 食イベント** ○**食文化の継承** ○NPO・ボランティア支援 等

方向性Ⅱ さらなるビジネスの推進に向けて

主要施策3 ビジネス化の推進

- 戦略的生産支援**
 - 学校給食強化** ○**市営林材の売払い・竹材のビジネスモデル構築**
 - 小倉牛**等
- 6次産業化・農商工連携の推進
 - 総合農事センターの機能活用 ○**ワンダージェット設置検討**
 - 新技術（高鮮度保持技術等）支援** 等
- ブランド化の強化
 - 新ブランド（若松トマト、サワラ等）検討・支援**
 - 市域を超えた生産・販売体制の構築検討** 等
- 輸出への取り組み
 - 輸出先国のニーズ等把握 ○**有望品目の試験的輸出**等
- 再生可能エネルギーの活用
 - バイオマスエネルギーの活用検討**、○**洋上風力発電の漁業での活用検討**等

所得向上

4つの支える取り組み

推進施策1 総合農事センターの積極的活用

- 総合農事センターの機能強化（**6次産業化、新規就農研修、畜産**等）
- 市民への農業に関する情報発信（**農業体験プログラム、朝市**等）

推進施策2 幅広い分野の積極的活用

- 北九州都市圏域市町などとの連携（**広域ブランド創出**等）
- 医・福・学等との連携（**園芸リハビリ、竹の有効活用**等）

推進施策3 情報発信と市民とのふれあい

- 各種イベントやメディア媒体の活用（農林水産まつり、メディア活用等）
- 農林水産業と市民とのふれあいの場づくり（**観光化支援、直売所**等）
- ロボット技術やICT等先端技術の活用**（**鳥獣被害対策、省力化**等）

推進施策4 危機回避機能の発揮

- 自然災害に対する防災機能の強化（減災対策、**防災協力農地等検討**）
- 有害鳥獣による被害の防止**（**市街地被害対策、お、アラクマ**等対応）
- 家畜疾病・伝染病の予防（家畜疾病等予防、発生時対応）
- 赤潮・油流出等の被害の軽減（国・県との連携、風評被害対策）

最終目標

- ◆農林水産業者の所得向上を目指します。
- ◆市民に新鮮で安全・安心な農林水産物を提供します。
- ◆市民や地域から共感される農林水産業を目指します。

成果指標

- ◇新規就農・認定農業者数 40人増
- ◇新規漁業従事者数 20人増
- ◇農地集積面積 50ha増
- ◇年間漁獲量 4,300t（4,069t）
- ◇市所得目標達成認定農業者等割合 30%（25%）
- ◇ブランド化等水産生産所得計 456百万円（372百万円）
- ◇市内直販所総売上 16.0億円（15.4億円）
- ◇飲食店サポーター件数 240件（217件）

※（ ）は26年度